

設置趣意書

1. 大原学園概要

学校法人大原学園は、1957年(昭和32年)3月5日に東京都千代田区長の認可を受け、東京都千代田区西神田一丁目3番1号に各種学校大原簿記学校として設立いたしました。

その後、1976年(昭和51年)の学校教育法の一部改正による専修学校制度施行に伴い、同年10月25日に専修学校の認可を受け、1979年(昭和54年)4月には個人立から準学校法人に改組しました。更に1982年(昭和57年)4月には、学校教育法第1条校の府中ひばり幼稚園を設置、準学校法人より学校法人に改組する中で、時代のニーズを受け止めつつ、学校経営の基盤強化を図って参りました。

大原学園では校訓「感奮興起」のもと、専門教育と人格の陶冶を行い、もって有為な産業人を育成することを教育目的としております。開校以来、実学教育の機関として半世紀余にわたり、簿記会計・税務・情報処理・法律・公務員・医療福祉保育・スポーツなど、幅広い分野で専門教育を展開し、2025年(令和7年)4月現在、北海道から沖縄にわたってグループ校含め120校を設置・運営し、産業界が即戦力として必要とする人材育成に努めております。

2. 大原ビジネス公務員専門学校松本校の設置と経過

大原簿記情報ビジネス医療専門学校松本校及び大原スポーツ公務員専門学校松本校(以下、大原学園松本校という)は、2015年(平成27年)に長野県松本市に開校致しました。その後10年間に亘り学校設置の目的である簿記会計・税務・医療事務・ホテル観光・情報処理・法律・行政・スポーツならびにこれらのビジネスに関する専門分野の教育と人格の陶冶を以て、有為な産業人の育成に取り組んで参りました。これまで多くの卒業生を輩出することができ、長野県内外の経済の活性化に微力ながら貢献できたものと考えております。

また、大原学園としては長野県内に大原学園松本校のほか、大原情報ビジネス医療専門学校長野校、大原公務員専門学校長野校の2校を展開することにより、長野県内での専門学校進学を志す高校生等が県内全域から通学しやすい学習環境を整えることで18歳人口の県外流出を防ぎ、県内企業への地元就職と県内定着に取り組んで参りました。長野県内への専門人材の定着は長野県より設置認可を受けた専門学校としての重要な責務のひとつとして今後も取り組んで参ります。

3. 松本情報 I T クリエイター専門学校の設置を必要と考えている理由

経済産業省の報告によると、I T 需要構造の変化に伴い 2025 年の I T 人材の不足数は約 36 万人超と予測されており、その後も右肩上がりでその不足が増え続け、2030 年にはその数は約 44 万人を上回ると推測されております。このように、I T 人材の不足が予測されていることに加えて、新型コロナウイルス感染症による社会的な変化もあり、A I の活用や先端技術に対応した人材育成が急務であると考えております。更に文部科学省が令和 2 年 6 月（追補版）に作成した「教育の情報化に関する手引き」に基づき、小学校、中学校、高等学校においてもプログラミングをはじめ、ネットワークデータベースの基礎、情報セキュリティなどの教育が始まっております。今後、益々 I T 人材の必要性が高まり、高等教育の場においてもその育成が求められると考えております。

大原学園松本校においては、校名の大原簿記情報ビジネス医療専門学校松本校の中で、経理本科 2 年制学科内にシステム開発コースを設置して I T 人材の教育環境を整備致しましたが、校名、学科名からして情報処理のイメージが表に出ておらず、これにより学生募集も堅調とは言い難く、情報 I T 系企業からの求人数に対して、その期待に応えることができない状況が続いており、誠に遺憾ではありますが、長野県内の I T 人材輩出に貢献できていないのが現状でございます。

このような状況を受け、将来の I T 人材確保へ向けた取り組みが社会的にも喫緊の課題であり、大きな意義があると考え、この度、長野県松本市に I T 人材を育成する場として、松本情報 I T クリエイター専門学校の設置（2026 年 4 月開校予定）を計画いたしました。

4. 新入生確保の見込み

大原ビジネス公務員専門学校松本校へ校名変更予定の大原学園松本校の校舎は、松本お城口より徒歩 5 分の至近距離にあります。また、松本駅は、篠ノ井線、中央本線をはじめ、大糸線、上高地線などの各路線が乗り入れるターミナル駅であり、長野県中信・大北・木曽・南信からのアクセスも良く、特急あずさ、特急しなの利用により、東京圏、名古屋圏へのアクセスも良い立地でございます。

長野県学校基本調査の令和 6 年 3 月における県内公立および私立高校卒業生（全日制、定時制）は 16,085 人であり、そのうち大学等進学者が 8,915 人（55.4%）、専門学校進学者が 3,300 人（20.5%）です。また、高校卒業生のうち、大学等進学者は 8,915 人ですが、県外の大学への進学は 7,166 人であり全体の 80.4%に上ります。この傾向は高等教育機関である専門学校についても同様であると推測されます。また、少子・高年齢化が騒がれておりますが、人口減少・働き手不足の要因と

して、進学の県外流出も原因として挙げられております。県内の高等教育機関へ進学増加の為に、一役を担いたいと考えます。

また、2015 年に大原学園松本校を長野県松本市に開校して以来、高度な専門教育と高い就職実績を保っており、その結果、信頼される専門学校として地域から広く認知されていると自負しております。

上記より、入学定員を十分に確保できると考えております。

5. 卒業生進路の見込み

2025 年 3 月の大原学園首都圏校専門課程卒業生の就職率は 99.5% と高い実績をあげており、また、2025 年 3 月卒業生を対象とした求人企業数は 12,619 社にも達しております。（参考：2025 年 3 月の松本校専門課程卒業生の就職率は、98.8%）

これらの数値は、社会及び各産業界からの大原学園の教育への信頼と期待が高いことの表れであると同時に、大原学園が学生の就職を約束する本物の教育を提供している確かな証と言っても過言ではないと考えております。

また、卒業生には、地元企業への就職を希望する方と交通アクセスの発達から就職先として都心部の企業を希望する方がおりますが、大原学園の就職ネットワークは日本全国の求人を閲覧することができ、学生のニーズにあった企業の情報提供、就職先の斡旋が可能となります。

昨今は就職に係る学生ニーズも多様化しておりますが、就職率 100% を常に念頭に置き、就職教育を提供して参ります。

6. 教育環境の整備

大原学園松本校では、校舎内の学生ホールを含め全フロアに Wi-Fi 環境を整えることで、学生が時と場所を制約されることなく、自由かつ主体的に学ぶ機会を創出して参りました。

また専任の基幹教員を配置するほか、各系統の本部校である大原簿記学校及び大原法律専門学校、大原医療秘書福祉保育専門学校、東京ホテル・トラベル・鉄道専門学校との連携により実務経験豊富な講師による講義や全国の大原学園を接続した実務家によるオンライン講演の実施など、各分野の情報を学生がリアルタイムで吸収できる環境を整備することで、即戦力となる人材の育成を目指して参ります。

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

総合ビジネス学科 コンピュータービジネスコース/1年次

授 業 科 目	必修の別	時間数	単位数
簿記入門Ⅰ	必修	30	1
一般教養Ⅰ		30	1
ビジネス教養Ⅰ		30	1
キャリアデザインⅠ		30	1
キャリアデザインⅡ		30	1
キャリアデザインⅢ		30	1
3級商業簿記基礎		90	3
3級簿記総合		120	4
Excel基礎		60	2
2級商業簿記基礎Ⅱ	選択①	90	3
2級工業簿記基礎Ⅱ		90	3
2級商業簿記応用Ⅰ		30	1
2級工業簿記応用Ⅰ		30	1
2級簿記総合Ⅱ		90	3
2級簿記総合Ⅲ		90	3
国内旅行基礎（業法）Ⅰ	選択②	30	2
国内旅行基礎（約款）Ⅰ		30	2
国内旅行基礎（運賃）Ⅰ		45	3
国内旅行基礎（地理）Ⅰ		30	2
国内旅行応用Ⅰ		60	2
ツアープランニングⅠ		60	2
言語知識（英会話）Ⅰ		45	2
言語知識（中国語）Ⅰ		60	2
観光英語Ⅰ		60	2
ホテル概論Ⅰ	選択③	15	1
ホテル実務Ⅰ		30	1
ホテル概論Ⅱ		15	1
ホテル実務Ⅱ		30	1
ホテル実習Ⅰ	選択④	90	2
ホテル実習Ⅱ		90	2
時事	選択⑤	30	1
ITリテラシ		90	3
Power Point基礎	選択⑥	30	1
年間時間及び単位数		850時間以上	32単位以上

選択科目

- ・ 選択①又は選択②のいずれか1つを選択する。
- ・ 選択①を選択した場合には選択⑤、⑥を選択する。
- ・ 選択②を選択した場合には、選択③、④、⑤、⑥を選択をすることが出来る。

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

総合ビジネス学科 コンピュータービジネスコース/2年次

授 業 科 目	必修の別	時間数	単位数
一般教養Ⅱ	必修	30	1
ビジネス教養Ⅱ		30	1
コミュニケーション概論		30	1
ビジネスマナー		60	2
英会話入門		30	1
パソコン実習Ⅰ		30	1
パソコン実習Ⅱ		30	1
パソコン実習Ⅲ		30	1
F P 基礎		120	4
F P 応用		60	2
F P 総合		90	3
Word基礎		30	1
卒業前特別講座		30	1
マーケティング概論		60	2
卒業研究・発表		60	2
財務会計	選択①	90	3
経理実務		60	2
給与計算実務		30	1
ITパスポート基礎	選択②	90	3
ITパスポート・リテラシ演習		30	1
ITパスポート応用		60	2
販売知識基礎	選択③	90	3
販売知識応用		90	3
年間時間数・年間単位数		850時間以上	30単位以上

選択科目

- ・ 選択①、選択②及び選択③のいずれか1つを選択する。

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

総合ビジネス学科 医療事務コース／1年次

授業科目	必修の別	時間数	単位数
医療請求事務基礎Ⅰ	必修	60	2
医療請求事務基礎Ⅱ		30	1
医療請求事務基礎演習		60	2
医療請求事務応用Ⅰ		60	2
医療請求事務応用Ⅱ		30	1
医療請求事務応用演習		30	1
医療秘書実務基礎Ⅰ		60	2
医療秘書実務基礎Ⅱ		30	1
医療秘書実務基礎演習		30	1
医療秘書実務応用Ⅰ		30	1
医療秘書実務応用Ⅱ		30	1
医療秘書実務応用演習		30	1
医療秘書実践Ⅰ		30	1
医療秘書実践Ⅱ		60	2
医療秘書実践Ⅲ		30	1
手話演習		30	1
一般教養Ⅰ		30	1
キャリアデザインⅠ		30	1
医療キャリアデザインⅠ		30	1
医療キャリアデザインⅡ		30	1
診療報酬基礎	選択①	30	1
診療報酬応用Ⅰ		60	2
診療報酬応用Ⅱ		60	2
診療報酬演習		60	2
患者接遇論Ⅰ	選択②	30	1
病院実習Ⅰ		60	2
ビジネス教養Ⅰ	選択③	30	1
医療キャリアデザインⅢ		60	2
患者接遇論概論	選択④	30	1
病院実習Ⅱ		60	2
医薬品知識	選択⑤	30	1
調剤報酬請求事務		60	2
調剤報酬請求事務演習		30	1
医師事務作業補助Ⅰ		30	1
医師事務作業補助Ⅱ		60	2
医師事務作業補助演習		30	1
病院研究		30	1
ビジネス文書作成		30	1
一般教養Ⅱ		30	1
年間時間及び単位数		850時間以上	31単位以上

選択科目

選択①または選択②のいずれか1つを選択し、その全ての科目を必修とする。

選択①を選択した者は、選択③または選択④のいずれか1つを選択し、その全ての科目を必修とする。

選択②を選択した者は、選択③を選択し、その全ての科目を必修とする。

選択⑤は任意選択とする

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

総合ビジネス学科 医療事務コース／2年次

授業科目	必修の別	時間数	単位数
医療秘書実践Ⅳ	必修	60	2
キャリアデザインⅡ		30	1
キャリアデザインⅢ		30	1
医療秘書実践Ⅴ		60	2
ビジネス教養Ⅱ		30	1
接遇論マナー実践		60	2
病院実習Ⅲ		60	2
病院実習Ⅳ		60	2
医療ビジネスマナーⅠ		60	2
請求事務実践Ⅰ		30	1
医療キャリアデザインⅣ	選択①	30	1
Excel基礎		60	2
Excel応用		30	1
医療キャリアデザインⅥ		30	1
こころとからだのしくみと生活支援		60	2
ケア計画基礎論		60	2
医療キャリアデザインⅧ		60	2
簿記入門Ⅰ		30	1
3級商業簿記基礎		90	3
3級簿記総合		120	4
ビジネスマナー	選択②	60	2
医療ビジネスマナーⅡ		30	1
請求事務実践Ⅱ		30	1
社会保険基礎論		30	1
医学知識		30	1
パソコン実習Ⅰ		30	1
病院実習Ⅴ		60	2
病院実習Ⅵ		60	2
病院実習Ⅶ		30	1
病院実習Ⅷ		60	2
医療ボランティア実践Ⅰ	選択③	30	1
医療ボランティア実践Ⅱ		60	2
医療ボランティア概論		30	1
接遇実践		60	2

選択科目

選①は、4単位以上を選択必修とする。

選②は、7単位以上を選択必修とする。

選③は、任意選択とする。

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

スポーツ学科／1年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数	
ダイビング実習	必修	30	1	
一般教養Ⅰ		30	1	
キャリアデザインⅠ		30	1	
キャリアデザインⅡ		30	1	
キャリアデザインⅢ		30	1	
時事		30	1	
簿記入門Ⅰ		選択①	30	1
3級商業簿記基礎	90		3	
3級簿記総合	120		4	
2級商業簿記基礎Ⅱ	90		3	
2級工業簿記基礎Ⅱ	90		3	
2級商業簿記応用Ⅰ	30		1	
2級工業簿記応用Ⅰ	30		1	
2級簿記総合Ⅱ	90		3	
2級簿記総合Ⅲ	90		3	
Power Point基礎	30		1	
ITリテラシ	90		3	
Excel基礎	60		2	
グループフィットネス理論	選択②		60	4
グループフィットネス演習			30	2
グループフィットネス実践			60	4
救急法・蘇生法			30	1
スタジオエクササイズ基礎実習		30	1	
運動処方Ⅰ		60	2	
トレーニング実践		90	3	
運動生理学		30	1	
機能解剖とバイオメカニクス		30	1	
健康スポーツ学		60	2	
メディカルケア		30	1	
運動処方Ⅱ		60	2	
スポーツ心理学		30	1	
マシントレーニング実習		30	1	
スタジオレッスン実習		30	1	
専門コンディショニング		30	1	
ビジネス教養Ⅰ	選択③	30	1	
インターンシップ	選択④	30	1	
キャンプ実習	選択⑤	30	1	
スキー基礎技術論		30	1	
スノーボード基礎技術論		30	1	
年間時間数・年間単位数		870時間以上	34単位以上	

選択科目

- ・選択①または②のいずれか1つを選択し、その全ての科目を必修とする。
- ・選択③から⑤は、任意選択とする。

スポーツ学科／2年次

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
一般教養Ⅱ	必修	30	1
Word基礎		30	1
パソコン実習Ⅰ		30	1
コミュニケーション概論		30	1
パソコン実習Ⅱ		30	1
パソコン実習Ⅲ		30	1
ビジネスマナー		60	2
英会話入門		30	1
販売知識基礎		90	3
販売知識応用		90	3
卒業前特別講座		30	1
マーケティング概論		60	2
卒業研究・発表		60	2
FP基礎	選択①	120	4
FP応用		60	2
FP総合		90	3
パーソナルトレーナー理論	選択②	30	1
パーソナルトレーナー実習		60	2
スポーツケア実習		30	1
パーソナルトレーニング指導実践		30	1
フィットネス理論	選択③	30	1
フィットネス実習		60	2
スタジオエクササイズ応用実習		30	1
スタジオエクササイズ指導実践		30	1
マシントレーニング実習Ⅱ	選択④	30	1
スポーツ運動学		30	1
スポーツキャリアデザインⅠ		30	1
スポーツキャリアデザインⅡ		30	1
ビジネス教養Ⅱ	選択⑤	30	1
年間時間数・年間単位数		870時間以上	29単位以上

選択科目

- ・選択①から③のいずれか1つを選択し、その全ての科目を必修とする。
- ・選択②と③を選択した場合は、選択④の全ての科目を必修とする。
- ・選択⑤は、任意選択とする。

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

公務員2年制学科／1年次

授業科目	必修の別	時間数	単位数
基礎数的Ⅰ 数的推理	必修	50	2
基礎数的Ⅱ 判断推理	必修	40	2
基礎数的Ⅲ 空間把握	必修	40	2
基礎社会科学Ⅰ 政治	必修	30	1
基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	必修	40	2
一般教養Ⅰ	必修	30	1
キャリアデザインⅠ	必修	30	1
総合教養演習Ⅰ 基礎教養	必修	60	2
基礎人文科学Ⅰ 地理	選択	30	1
基礎人文科学Ⅱ 日本史	選択	30	1
基礎人文科学Ⅲ 世界史	選択	30	1
基礎自然科学Ⅰ 生物	選択	20	1
基礎自然科学Ⅱ 地学	選択	20	1
基礎自然科学Ⅲ 物理	選択	20	1
基礎自然科学Ⅳ 化学	選択	20	1
基礎言語Ⅰ 文理・国語	選択	20	1
基礎言語Ⅱ 英語	選択	30	1
基礎演習Ⅰ 数の処理	選択	40	2
基礎演習Ⅱ 社会科学	選択	30	1
基礎演習Ⅲ 人文科学	選択	30	1
基礎演習Ⅳ 自然科学	選択	20	1
基礎演習Ⅴ 知能系科目総合	選択	60	2
基礎演習Ⅵ 知識系科目総合	選択	60	2
総合教養演習Ⅱ 実践教養	選択	60	2
公務員就職試験対策講義	選択	30	1
一般教養Ⅱ	選択	30	1
キャリアデザインⅡ	選択	30	1
公務員模擬受験	選択	20	1
就職活動準備	選択	90	3
トレーニング実習	選択	30	1
職業実務Ⅰ	選択	15	1
職業実務Ⅱ	選択	15	1
職業実務Ⅲ	選択	15	1
職業実務Ⅳ	選択	15	1
職業実務Ⅴ	選択	15	1
公共ボランティア実習Ⅰ	選択	30	1
ビジネス教養Ⅰ	選択	30	1
ITリテラシ	選択	90	3
Excel基礎	選択	60	2
時事	選択	30	1
年間時間及び単位数		800時間以上	

公務員 2 年制学科／2 年次

授業科目	必修の別	時間数	単位数
キャリアデザインⅢ	必修	30	1
基礎人文科学総合	選択	20	1
基礎自然科学総合	選択	20	1
基礎数学Ⅰ	選択	20	1
応用演習 数的処理Ⅰ	選択	20	1
応用演習 数的処理Ⅱ	選択	20	1
応用演習 知識系科目総合Ⅰ	選択	20	1
応用演習 知識系科目総合Ⅱ	選択	20	1
応用演習 数的処理本試験対策	選択	20	1
応用演習 知識系科目本試験対策	選択	20	1
総合答案練習Ⅰ	選択	150	5
直前答案練習Ⅰ	選択	180	6
直前答案練習Ⅱ	選択	120	4
直前答案練習Ⅲ	選択	30	1
公務員時事対策	選択	30	1
公務員時事研究	選択	60	2
公務員就職試験対策演習	選択	30	1
公務員キャリアデザイン 公務員春試験	選択	30	1
公務員キャリアデザイン 公務員秋試験	選択	120	4
公務員適性検査演習Ⅰ	選択	60	2
公務員適性検査演習Ⅱ	選択	30	1
公務員教養論作文対策	選択	30	1
公官庁講話	選択	20	1
公務員倫理	選択	15	1
公共ボランティア実習Ⅱ	選択	30	1
ビジネスマナー	選択	60	2
パソコン実習Ⅰ	選択	30	1
法律研究	選択	30	1
行政研究	選択	30	1
一般教養Ⅱ	選択	30	1
ビジネス教養Ⅱ	選択	30	1
コミュニケーション概論	選択	30	1
英会話入門	選択	30	1
パソコン実習Ⅱ	選択	30	1
パソコン実習Ⅲ	選択	30	1
F P 基礎	選択	120	4
F P 応用	選択	60	2
F P 総合	選択	90	3
Word基礎	選択	30	1
卒業前特別講座	選択	30	1
マーケティング概論	選択	60	2
卒業研究・発表	選択	60	2
財務会計	選択	90	3
経理実務	選択	60	2
給与計算実務	選択	30	1
ITパスポート基礎	選択	90	3
ITパスポート・リテラシ演習	選択	30	1
ITパスポート応用	選択	60	2
年間時間及び単位数		800時間以上	
卒業に必要な時間数		1700時間以上	

<別表>

第14条（教育課程・授業時間）

公務員 1 年制学科

授 業 科 目	必選の別	時間数	単位数
基礎数的Ⅰ 数的推理	必修	50	2
基礎数的Ⅱ 判断推理	必修	40	2
基礎社会科学Ⅰ 政治	必修	30	1
基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	必修	40	2
実践数的 空間把握	必修	20	1
直前答案練習Ⅰ	必修	180	6
一般教養Ⅰ	必修	30	1
公務員教養論作文対策	必修	30	1
基礎人文科学総合	選択	20	1
基礎自然科学総合	選択	20	1
基礎数学Ⅰ	選択	20	1
基礎言語Ⅰ 文理・国語	選択	20	1
基礎言語Ⅱ 英語	選択	30	1
応用演習 数的処理本試験対策	選択	20	1
応用演習 知識系科目本試験対策	選択	20	1
実践人文科学Ⅰ 地理	選択	20	1
実践人文科学Ⅱ 日本史	選択	20	1
実践人文科学Ⅲ 世界史	選択	20	1
実践自然科学Ⅰ 生物・地学	選択	20	1
実践自然科学Ⅱ 物理・化学	選択	20	1
実践答案練習Ⅰ	選択	60	2
直前答案練習Ⅱ	選択	120	4
公務員時事対策	選択	30	1
公務員時事研究	選択	60	2
公務員就職試験対策演習	選択	30	1
公務員キャリアデザイン 公務員春試験	選択	30	1
公務員キャリアデザイン 公務員秋試験	選択	120	4
公務員適性検査演習Ⅰ	選択	60	2
公務員適性検査演習Ⅱ	選択	30	1
トレーニング実習	選択	30	1
職業実務Ⅰ	選択	15	1
職業実務Ⅱ	選択	15	1
職業実務Ⅲ	選択	15	1
職業実務Ⅳ	選択	15	1
職業実務Ⅴ	選択	15	1
公官庁講話	選択	20	1
公務員倫理	選択	15	1
公共ボランティア実習Ⅰ	選択	30	1
公共ボランティア実習Ⅱ	選択	30	1
ビジネスマナー	選択	60	2
パソコン実習Ⅰ	選択	30	1
法律研究	選択	30	1
行政研究	選択	30	1
卒業前特別講座	選択	30	1
年間時間及び単位数		850時間以上	
卒業に必要な時間数		850時間以上	